

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (社会医療法人芳越会 若宮の里グループホーム 事業所番号：3670500168)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様の充実した生活を支援する事を介護方針とし、「毎日笑顔を」の介護理念の具体化の為に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣店舗への買い物や、事業所近辺の散歩、ドライブなどの外出を行っている。管理者がオレンジカフェに出向いて、地域の方と交流を図っている。	地域の秋祭りの時には神社に神輿を組んでいるので、見に来ては。ボランティアについては社協がよく知っていると思われる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外部との交流をしたいとの意向を受け、地域の保育所との交流を持った。	開所当時から運営推進会議に参加させてもらっているが、どんどん事業所が良くなってきていると感じる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市の窓口へ出向き、報告・連絡・相談を行っている。事故報告の際も、速やかに電話連絡をするように努めている。運営推進会議の資料も、出来る限り分かりやすい内容となるよう心がけている。	美馬市が開催する研修会にも参加してくれており、また、事故報告も上げてくれている為、連携は図れていると思われる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の利用者について意見を交換し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。門の出入り口はロック式だが、希望に応じて外出支援をしている。身体拘束検討委員会を毎月開催し、適切なケアの提供を遵守している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束は、してはならないものとして取り組んでいます。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会を開催して学ぶ機会を持ち、全員で虐待のない介護をしている。なれ合いの中で見過ごされがちな、疑似的な虐待の防止にも努めている。虐待防止検討委員会を年に2回開催し、虐待はあってはならない事であると周知している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束同様、あってはならない意識を持って取り組まれています。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会を開催し、成年後見制度について学んでいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重要事項説明は、入居時に丁寧に説明を行っている。改定時(法改正・管理者変更等)は、理由、内容について十分に説明を行い、家族の疑問や意見に対応しながら同意を得るように努め、理解を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや日常的なケアの中で、本人・家族から意見や不満などがないかを確認し、表明された言葉以外の中からも課題・問題点を見つけるようにして、早急にスタッフ会議で検討し、対応している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員の要望を叶えるのは難しいと思いますが、出来る限り対応できていると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議のみならず、主任や管理者に相談しやすい環境を整えている。管理者は運営・経営に関わる会議にて議題を上げ、改善に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員等処遇改善加算を取得し、賃金に反映している。また、残業せずに定時退勤できるよう、互いに協力して取り組んでいる。主任を中心とした生産性向上委員会を立ち上げ、業務効率や環境の改善に取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	加算を取得したり、業務効率改善の為に委員会の立ち上げなどを行い、就業環境整備に努められています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時の新人研修、配属後の現任教育を行っている。人事考課にて自己評価し、スキルアップ計画を立案。フィードバック面接を行い、向上心を持って働けるようにしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	報告にもあるように、多くの研修を行っているようです。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同地域の専門職の勉強会に、オンラインや現地にて参加している。今年度は、1事業所のみであるが、地域の GH の運営推進会議に参加できた。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の風習や遊び、ことわざなどを教えてもらっている。人生の先輩として対応している。洗濯物たたみや掃除など、人生経験を活かして生き活きと過ごされている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの訪問理容を活用したり、家族との面会、外泊をしている。また、毎月のお便りにも、できる限り写真を入れている。	馴染みの人との関係が途切れない支援というのは具体的にどのような内容か？→年賀状の送付、日々の様子を詳細に記したお便り、母校や住み慣れた地域へのドライブ等を実施している。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話や過ごし方からニーズを意図的に把握するようにしている。できる限り本人の好きな生活スタイルが保てるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の気持ちを聞き、主治医・看護師・介護士の意見を出し合い、チーム全体で取り組む、よりよい介護に向けた計画立案を行っている。それを利用者・家族に説明し、同意を得ている。	ケアプランに関しては、本人が要望するようなことを、関わってくれた職員が汲み取ってくれていた。除圧用のクッションに関することのアドバイスもくれた。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多職種で連携して、介護計画を作っているようです。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録は、利用者のアルバムとなるように記録している。テーマごとに記録を検索でき、迅速な情報収集ができる。個別ファイルには医療情報やケア情報を整理し、ケアプランのモニタリングにも活用できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細やかな記録ができているようです。家族にも記録を送付しています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要物品の買い物代行、急な受診介助、ドライブでの気分転換、面会の実施など、多様なニーズに対応できるよう努めている。	母が入居中はコロナ禍であり、窓越し面会であった。今後は、出入りや面会についての線引きを明確にすれば、ボランティアの受け入れもしやすくなり、柔軟な支援の多機能化に繋がるのでは。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣への外出やボランティアの誘致を行っている。ドライブの際、眺めの良い所を通ったり、馴染みの地域へ行ったりしている。	地域資源としてはそんなに多くのものはないが、喫茶店等の活用を考えてみては。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望する医療機関受診を第一義とし、同意を得られれば、法人内医師の訪問診療による対応も可能。急変時も迅速で、きめ細やかな対応を実現している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医・連携病院と常に情報交換を行っている。入院時は介護サマリーを持参し、情報を提供している。家族とも連携し、退院後の再入居に向け、早期退院・スムーズな受け入れに努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院をしても、退院してまた生活を継続できている報告がよくあります。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りケアを提供できる旨を入居時に説明し、その時点での終末期の希望を確認している。状態変化時には医療との連携により、迅速な対応を行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りをした報告も時折聞かれ、よく頑張っていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応や、観察ポイントの勉強会を行い、知識を高めている。緊急時対応マニュアルも作成している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の法定訓練に加え、1～2回程度の自主訓練も行っている。管理者が災害に関する研修を受け、知識の共有を図っている。	マルナカあたりの土地が低いと思われるため、大雨の時には高台に上るのも良いのでは。市役所の方でも、様々な訓練を行っている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定訓練以外にも、自主訓練をされており、よく取り組まれています。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	否定的な態度や言葉かけをせず、その人が喜ぶ言葉や誘い方を心掛けている。他者とは比較せず、その人らしさを尊重している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	優しい言葉がけができているように思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り、利用者様のペースに添って一緒に生活している。意向を尊重し、起床・食事・就寝時間も柔軟に対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ作りのレクを行っている。また、毎月の行事食を提供し、食の楽しみを感じて頂いている。栄養士との連携も密である。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事食や、おやつ作りの報告があり、食べる事の楽しみを支援できていると思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分摂取量を毎日チェックし、記録に残している。医師、管理栄養士とも連携し、食事形態や栄養補助食品の検討も行う。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、歯磨きや義歯洗浄を実施している。自分で出来ない方については介助を行う。必要時は歯科訪問診療も依頼。ムセのある方もおられるが、誤嚥性肺炎は、数年に渡り発生していない。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアに加え、歯科医との連携もとれています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の状態に応じて排泄援助を行っている。排泄サイクルを把握してトイレ誘導し、気持ちよく排泄できるよう支援している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に見たり聞いたりはできていませんが、頑張っていると思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出予定や、見たいテレビ、体調、気分、面会など、本人の希望に合わせて入浴を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	眠れない原因を把握し、不眠要因の解消案を検討している。夜間せん妄などあれば、安心できる声掛けを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	効能や副作用が記載されたお薬手帳を常備している。服薬による変化を把握し、主治医との連携に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬は大切なことなので、しっかりと管理されていると思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみ、掃除、新聞折りなど、利用者様の経験や能力を活かして、活躍できる機会を設けている。	個々の職員がアイディアを共有し、利用者の楽しみを生み出すことができていると感じる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	世間的にはコロナ禍も終息し、外出への機運が高まっていることから、家族様のご協力もあり、外泊が実現している利用者様もおられる。突発的な外出のニーズにも、可能な限り対応している。	外出支援についてはよく取り組まれていると感じる。外泊等を希望する場合、いつまでに申し出ればよいか→特段の規定はなく、直前に申し出て頂いても対応可能。訪問診療日であり、処方が必要であるなどの特段の事情がない限り、迅速に対応させて頂く。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数人は預かり金があるが、基本的には立替金制度を活用し、現金紛失を予防している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、いつでも電話をかけられる体制である。携帯電話の使用手法も補助を行う。令和8年3月末で使用できなくなる携帯電話を所持していた利用者についても、家族の要望により、機種変更の代行も行った。毎年年賀状も送っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	正月には門松やしめ縄、手作りの大きな鳥居、3月にはひな人形、7月には天の川、12月にはクリスマスツリーなど、季節を感じられる飾りつけを行っている。その他、利用者様と一緒に作成した作品も壁に飾っている。居室が分かりにくい方の居室には、許可を得て顔写真や氏名を掲載している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつ見ても、清潔で季節感のある素敵な生活空間だと思います。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思表示できる方からは、本人の思いを確認し、明確にコミュニケーションが図れない方は、表情などから思いを汲み取り、それらに沿った生活ができるよう支援している。家族様への聞き取りも行い、参考にしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職業や家庭での役割、趣味、性格などを十分に理解し、その方に合った支援を提供している。家族、友人等の面会も行えている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調不良時には主治医との連携により、早期対応できている。居室や共用スペースの動線にも注意し、安全に移動できる環境を整えている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師との連携がしっかりとれており、体調不良にも早期に対応できる体制だと思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お茶の温度、入浴後のスキンケア、昼寝のタイミング、家族への電話など、本人の好みやペースを重要視している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、危険な物で無ければ何を持ち込んでもらっても構わないと伝えている。タンスについては、備え付けがある為、持ち込みは無い。利用者によっては、昔の写真アルバムや、家族等からの贈り物を自室に置かれている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真が飾ってあったりして、大切な家族との繋がりが感じられます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人が集まる場所にはなかなか行けませんが、ドライブや、家族との外出・外泊、近隣で行われた阿波踊り鑑賞などに出かけている。	周りと交流してみたいが、いざとなると自分が出る幕ではないと思ってしまふ。歌や踊りを披露してもらえるなら見てみたい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の有する能力に合わせ、レクや行事も楽しんで頂いている。掃除や洗濯物たたみ等の役割も持ってもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話ができる方に関しては、利用者同士や職員と、冗談を言い合いながら、楽しく過ごしている。重度化が進んだ方については、会話や活動場面が少ないのも事実である。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	多くのレクリエーションの報告があり、楽しんで生活できているようです。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や友人、近隣保育所、ボランティアや訪問理容などとの交流を図っている。	自分の力で年賀状を書いてもらったり、お化粧をする機会を設けたり、頭が活発になるような支援をしているので感心した。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内において、職員や他の利用者と慣れ親しんだ関係を構築し、自分らしさを発揮した生活を送っている。家族との面会も実施している。今後は、面会時間の延長等を検討したい。	昔から、あちらこちらに出かけており、今のところはこれといって行きたい場所はない。しかし、うどんやラーメンが好きなので、食べに行きたい。出かけるのは楽しみ。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	報告を聞く限り、入居者が明るく生き生きと生活で来ているように思います。